

み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。

7月臨時会
9月定例会

◆事業成果や執行状況を審議し、
平成30年度の決算を認定 P2

◆常任委員会
こんなことが話し合われました P9

◆一般質問
市政のここが聞きたい P12

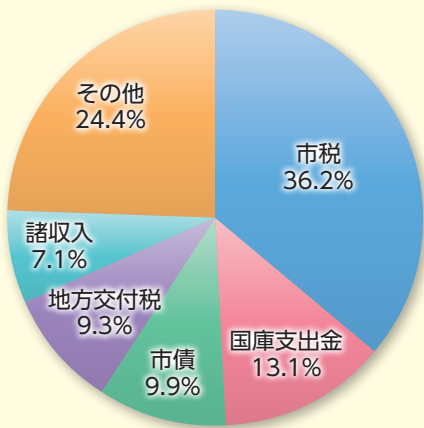
▲大きな魚見つけたよ！（秋のもみじ公園）



平成30年度の決算を認定

産業の振興による雇用の創出や
まちの安全・安心に向けた事業を推進

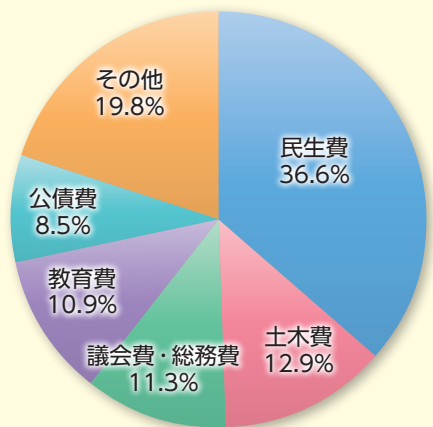
**一般会計歳入
995億5,859万円**



- ①市税 360億 593万円
(個人・法人市民税、固定資産税などの税収入)
- ②国庫支出金 130億6,720万円
(国が自治体の行う特定の事業経費の全部または一部を負担するお金)
- ③市債 98億9,990万円
(長期間使われる公共施設の整備にかかる借入金)
- ④地方交付税 92億6,888万円
(市町村の財政力に応じて国から交付されるお金)
- ⑤諸収入 71億1,469万円
(預金利子や各種貸付金の元利収入など)
- ⑥その他 242億 199万円
(県支出金、地方譲与税・交付金、使用料および手数料など)

- ①民生費 356億5,819万円
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費)
- ②土木費 125億3,737万円
(公園や道路・街路の整備、市営住宅の建設などの経費)
- ③議会費・総務費 109億9,422万円
(議会の運営、広報、地域づくりの支援などの経費)
- ④教育費 106億2,641万円
(学校の建設・改修、生涯学習、スポーツ振興などの経費)
- ⑤公債費 82億4,402万円
(市債の返還にかかる経費。うち利子分約7億1,735万円を含む。)
- ⑥その他 193億8,126万円
(衛生費、労働費、農林水産業費、商工費など)

**一般会計歳出
974億4,147万円**



事業成果や執行状況を審議し、



▲町内会などに除排雪費を補助

委員 町内会の規模による1シーズン当たりの回数をどのように考えているのか。
広報課長 以前は、一律に1町内会1回であったが、町内会の規模により不公平感があるとのことから、平成27年度より、**世帯数に応じた回数**を定めている。地域による雪の

町内会などが自治活動の一環として一斉除排雪を行った場合に報償金を支給しました。

町内会等除排雪対策事業
253万円

決算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

委員 地域集会所を所有する町内会は、コミュニティが醸成され、運営を自前で賄っているが、行政から依頼される仕事も多くあるため、町内会や自治会運営に補助が必要と考えるがどうか。
広報課長 地域集会所は、549町内会のうち、6割に相当する約300町内会が所有している。少子高齢化が進み、町内会会費収入も減ってきている中で、集会所の運営経費が町内会の負担になるケースも生じてきているとの声もあるため、毎年実施している**自治組織調査の中で、実態把握**に努めていく。その結果を踏まえ、**支援の必要性も含め検討**していきたい。

町内会などが設置する地域集会所の建築などに対し補助金を交付しました。

**コミュニティ支援事業
(集会所整備等支援)**
242万円

降り方の違いや町内会規模など実態に即した**補助制度のあり方を精査**していく。

健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

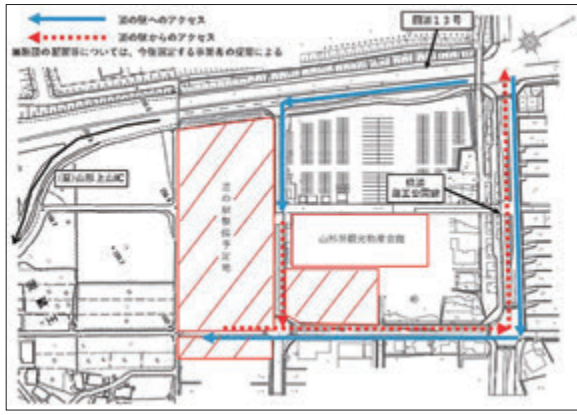
健全化判断比率・資金不足比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき公表される、地方公共団体の財政の健全度を判断するための指標です。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を早期健全化基準と比較することで財政の健全度を判断します。また、特別会計、企業会計の場合は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。いずれの指標も基準を下回っているため、本市の財政は健全と言えます。また、参考として、各会計の市債（山形市の借入金）の残高も併せて表示しています。

| | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|---------|-------------|--------------|---------|--------|
| 山形市 | なし (△2.92%) | なし (△22.60%) | 8.0% | 84.1% |
| 早期健全化基準 | 11.25% | 16.25% | 25.0% | 350.0% |

※実質収支および連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率はありません。なお、参考として、黒字の比率を（ ）に「△」で表示しています。

| | | 資金不足比率 | 経営健全化基準 | 市債および企業債残高(平成30年度末現在) |
|-----------|--------------|-------------|---------|-----------------------|
| 一般会計 | 一般会計 | | | 1,000億1,905万円 |
| | 特別会計 | | | |
| 特別会計 | 介護保険事業会計 | | | 19億2,187万円 |
| | 区画整理事業会計 | | | 4,360万円 |
| | 駐車場事業会計 | | | 3億9,546万円 |
| | 公設地方卸売市場事業会計 | なし (△ 4.3%) | 20.0% | 10億4,320万円 |
| | 農業集落排水事業会計 | なし (△ 4.0%) | | 169億6,441万円 |
| 企業会計 | | | | 871億1,582万円 |
| 水道事業会計 | なし (△85.6%) | | | 30億2,417万円 |
| 公共下水道事業会計 | なし (△21.4%) | | | 2,105億2,758万円 |
| 企業会計 | | | | |
| | 市立病院済生館事業会計 | なし (△33.2%) | | |
| 合計 | | | | |

※いずれの会計も資金不足額は生じていないため、資金不足比率はありません。なお、参考として、資金剰余の比率を（ ）に「△」で表示しています。



▲ (仮称) 道の駅蔵王の予定地図面

委員 消防本部総務課長 広報やホームページなどを活用しながら、募集に努めていきたい。

委員 消防団は団員の確保に苦勞している。行政が、もっと力を入れるべきではないか。

消防団員加入促進のため、団員報酬の改定を行いました。

消防団員の処遇改善事業

9893万円

委員 母子保健課長 母子健康手帳の交付数と転入した妊婦数

委員 贈呈人数が見込みより少なかったとのことだが、要因は何か。

赤ちゃん誕生の際に、祝いのメッセージを伝える赤ちゃんギフトの贈呈を行いました。

ようこそ赤ちゃん応援メッセージ贈呈事業

547万円

委員 出前講座を開催していない地区には、開催への働きかけが必要ではないか。

委員 消費生活センター所長 未開催地区の把握とともに、地区の希望などを聞きながら対応していきたい。

消費者被害を未然に防ぐため、悪質商法などに関する事例や対処法などの出前講座を行いました。

消費者保護・啓発推進事業

433万円

委員 申請状況はどうか。また、手続きの簡素化や支給漏れを防ぐ手だてを講じているのか。

委員 生活福祉課長 平成30年度の申請率は、91・6%となっており、広報やまがたでの周知や未申請者には勧奨通知を送付している。また、申請履歴のある方には、住所・氏名などを印字した申請書を送付するなど簡素化を図っている。

県が実施する施策と連携し、低所得者世帯へ灯油購入費などの給付を行いました。

福祉灯油購入費等給付事業

6532万円

参考にも、予算を算定しているが、妊婦の数などが想定より少なかったためである。



▲赤ちゃんの誕生で贈られるメッセージやギフト

※1 PPP手法…Public Private Partnershipの略称。自治体が行ってきた事業で設備は官が保有したまま、設備投資や運営を民間業者に任せるなどの手法。
 ※2 DBO方式…民間の事業者がデザイン (Design)、建設 (Build)、運営 (Operate) を一括して委ね、施設の所有や資金調達は公共側が行う方式。



▲わなを設置し、有害鳥獣を捕獲

委員 農作物の被害額はどうか。
農村整備課長 平成30年度の被害額は4077万円、内訳は、イノシシ1384万円、鳥類959万円、猿545万円、ハクビシン412万円、熊347

被害防止設備の導入への助成や防護網設置、鳥獣被害対策実施隊による捕獲などを行いました。

委員 紙おむつも多様化し、状態に合わせ使用されているが、支給されるものは種類が少ないと聞くがどうか。
長寿支援課長 状態に応じて支給している。担当ケアマネジャーが代行申請することもあることから、話を聞きながら、品目を増やすことが可能なのかを検討したい。

ねたがり状態または重度の認知症高齢者の家族などに対し、紙おむつを支給しました。

紙おむつ支援事業
2108万円

有害鳥獣等食害対策事業
3140万円

委員 対象を高校生までに拡大してはどうか。
家庭支援課長 予算規模も大きくなることから、他の子育て施策との整合性や必要性を総合的に捉え、検討しなければならぬと考えている。

こどもの医療費の無償化を進め、保護者負担の軽減を図りました。

こども医療給付事業
11億7283万円

委員 寄付金額のうち、経費を除いた実質的に使用できる割合はどのくらいか。
山形ブランド推進課長 平成30年度の経費率は、寄付額の30%の返礼品、送料、サイトの掲載料などを合わせて約54%であったため、実質的に使用できるのは、寄付額の約46%であった。

ふるさと納税を通じて、特産品などのPRと地場産業の振興を図りました。

ふるさと納税推進事業
10億4803万円

委員 進捗率はどのくらいか。
地籍調査室長 平成30年度末時点で11・6%である。

地籍の明確化を図るため、一筆ごとの土地所有者、境界などの調査測量、地籍図および地籍簿の作成などを行いました。

地籍調査事業
1億830万円

万円、カモシカ250万円、その他180万円程である。

委員 相談件数が想定よりも多かったとのことだが、職員数は足りているのか。
雇用創出課長 センター長とプロジェクトマネジャーの2人で相談を受けているが、特にIT関係の相談が多いため、**専門のアドバイザー3人の配置や事務員の増員**により、バックアップ体制を充実させ、対応している。

委員 相談業務を開始した平成31年1月から9月末までの相談件数は1276件あったとのことだが、事業者数はこのくらいで、どのような業種からの相談が多かったのか。
雇用創出課長 相談受付事業者数は360者で、サービス業22%、卸小売業19%、飲食宿泊業12%である。

中小企業などの経営基盤の強化を図るため、平成30年度に売上増進支援センターY・bizを設立し、経営相談や創業支援などを業務委託により開始しました。

売上増進支援センター(Y・biz)設立、運営事業
3503万円

さらなる議会改革に向けて
議会改革検討委員会を設置

本市議会では、施行から5年が経過した山形市議会基本条例の検証を平成30年度に行い、これまでの議会改革への取り組み実績の評価と、さらなる議会改革に向けた今後の取り組み方針を示しました。

この検証結果報告書を受け、また、今後の取り組みべき課題を検討・協議するため、令和元年10月7日に議会改革検討委員会を設置しました。

これまでの取り組みに加え、議会の活性化など、議会改革をさらに進め、より身近で分かりやすい議会を目指して議論してまいります。

- 委員長 伊藤 香織
- 副委員長 渋谷 朋博
- 事務局長 佐藤 秀明
- 委員 高橋 公夫
- 浅野 弥史
- 田中 英子
- 佐藤 亜希子
- 武田 新世
- 武田 聡
- 菊地 健太郎

学校給食センター運営管理
業務 10億243万円

学校給食センターの運営
や衛生管理、献立の作成な
どを行いました。

委員 市内産野菜の使用状況
は25・4%だが、平成29年度と
比較してどうか。さらに使用
割合を上げるべきではないか。

学校給食センター所長 30年
度は、委託栽培の協定を結ん
でいるタマネギの生育が悪
かったことから、29年度より
も使用量が下がっている。で
きるだけ市内産の農産物を使
用したいと考えているが、年

間を通しての使用は難しいた
め、県内・県外産の農産物も
使用している。

不登校児童生徒対策事業
4192万円

教育相談員を配置し、児
童・生徒および保護者を対
象に、個別の教育相談など
を実施しました。

委員 いじめや不登校が増加
傾向にあることを、どのよう
に分析しているのか。
学校教育課長 いじめの件数
の増加は、子どもたちの環境
が荒れているのではなく、学
校が、子どもや保護者、

家庭系ごみの有料化に
関する事業 2億2万円

ごみ袋の作成や販売、生
活保護世帯などに、ごみ袋
の支給を行いました。

委員 ごみの減量を目的に有
料化したのが、計画目標値との
比較はどうか。

ごみ減量推進課長 平成30年
度の家庭系と事業系を合わせ
た燃やせるごみの量は6万6
937トンで、一般廃棄物処
理基本計画で定めた目標値を
521トン上回っているが、
家庭系ごみは目標値よりも3
93トン下回っている。

集団資源回収推進事業
4893万円

市民のごみ減量運動とし
て資源回収を推進するため
の支援を行いました。

委員 資源回収のための資源
物の保管場所の確保が困難な
地区などに対し、資源回収を
推進する取り組みなどは考え
ているのか。

ごみ減量推進課長 実施回数
により資源回収推進費が加算



▲生活保護世帯などにごみ袋を支給

される制度を活用し、可能な
限り実施してもらえよう取
り組みたい。

都市公園安全安心対策事業
1億751万円

公園施設のバリアフリー
化と山形市公園施設長寿命
化計画に基づく工事などを
行いました。

委員 公園施設のバリアフ
リー化を実施しているが、引
き続き整備していくのか。
公園緑地課長 園路などの段
差を解消するため、スロープ
の設置などを行っている。整

備が必要な7公園のうち、約

60公園が完了しており、引き
続き整備を進めていく。

市道橋梁維持補修事業
4億8065万円

山形市橋梁長寿命化修繕
計画に基づき、補修工事と
補修設計委託などを行いま
した。

委員 目標値と実績値に開き
があるが、整備計画はどうか。
道路整備課長 想定外の損傷
が発見されるなど、計画通り
に進まない状況であるが、緊
急に対策が必要な橋は、すべ

て修繕が完了している。平成
31年3月に行った計画の中間



▲市内産野菜を使用し、おいしい給食を提供する学校給食センター

校が、子どもや保護者、
地域の声をしっかりと聞
き、早くいじめの芽を
摘んでいるためと捉え
ており、いじめを認知
した上で新たな指導を
展開している。不登校
の増加は、家庭環境や
学習についていけない
ことなどが主な要因と
捉え、登校が目的では
なく、子どもの自立を
支援することを目的に、
できる限り数が少なく
なるよう指導や対応を
行っている。



▲築44年が経過し、改修が必要な公設地方卸売市場

見直しに基づき、計画的に整備していく。

国民健康保険事業会計

委員 国民健康保険が都道府県単位化となって、初めての決算であるが、収入率ほどのように推移しているのか。

国民健康保険課長 収入率は平成28年度91・23%、29年度91・79%、30年度92・9%となっている。

病院事業会計

委員 平成30年度の診療報酬

改定で、人件費部分はプラスだが、薬価・材料価格はマイナス改定となっている。影響はどうか。

済生館管理課長 平成30年度決算は結果的に黒字化を達成できているが、薬品購入費用の増加などが経営を圧迫していることも事実である。費用の削減を中心に、さらなる経営改善に取り組んでいきたいと考えている。

公設地方卸売市場事業会計

委員 施設の老朽化に、どのように対応していくのか。

市場管理事務所長 昭和50年の開設以来、随時修繕を行って来ているが、施設の老朽化により大規模な改修も必要となってきた。施設移設の要望などもあり、経営戦略や経営展望を策定する中で整理していきたいと考えている。

水道事業会計

委員 各地で台風などによる災害が発生しているが、見崎の浄水施設

設など、河川が氾濫した場合の浸水対策はどうか。

水運用センター所長 浸水被害が想定される箇所は、最上川取水場や見崎浄水場である。初期対応は土嚢による対策で、浸水深1メートル前後は防げると考え、訓練も実施している。機能が停止するような被害を受けた場合には、3水系のバックアップ管路による松原浄水場系や県水系からの給水を想定している。国や県の洪水ハザードマップ改訂で浸水予測の水位も上がっているため、施設更新時には浸水被害対策も検討していきたい。

駐車場事業会計

委員 香澄・大手町駐車場は、料金収入よりも指定管理料や維持管理費を含めた支出が多いが、今後の見直しはどうか。

道路維持課長 香澄駐車場は、市民会館で催し物開催時の利用が主体であり、周辺に民間駐車場が多いことも影響している。大手町駐車場は、近隣の金融機関の移転で定期利用者が増えたものである。周辺が整備され、集客が見込まれるものと考えている。

平成30年度 決算監査意見書要旨

一般・特別

一般会計の歳入において、前年度に比べ財産収入、市債などが増加し、繰入金、地方交付税などが減少している。「山形県の景気は横ばい圏内の動き」とされているが先行きは不透明な状況にある。受益者負担金の適正化や財産の有効活用など、一層の歳入確保に取り組まれない。

一方、歳出においては、前年度に比べ民生費、衛生費、土木費などが増加し、教育費、公債費、労働費などが減少している。学校施設など大規模施設整備費用の増加が見込まれるとともに、中核市移行に伴い県からの移譲事務について今後も円滑な遂行を図り市民サービスの充実に向け、より効果的で効率的な行政運営を推進されたい。

済生館

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べおおむね改善されている。

済生館は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、地域の医療機関等と連携強化を図りながら、質の高い医療の提供に取り組まれている。新たに策定した「済生館3ヵ年計画」では、中核市移行により新設された山形市保健所との連携による多くの計画を掲げている。これら諸施策の着実な推進と、自治体病院の使命を踏まえながら経営の効率化を図り、市民から信頼される病院運営に取り組まれるよう要望する。

水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べおおむね改善されている。耐震化を含めた、耐用年数を迎える配水管や浄水施設設備の更新等に係る建設改良事業の推進が引き続き予定されており、今後とも費用の節減に取り組まれるとともに、施設規模や稼働状況の適正化等を図り、一層の経営の効率化に努められたい。

管路の耐震化や配水ブロック整備の推進、災害時における応急的な給水方法の充実など、災害対策の強化に取り組まれている。今後とも「山形市上下水道事業基本計画（後期計画）」の着実な実現に向け、引き続き効率的な事業経営に努められたい。

公共下水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べポイント数の増減はあるものの、大きな変動はないが、企業債に依存する割合が比較的高いことがうかがえる。

平成30年度から下水道使用料等徴収業務を含めた上下水道営業等包括委託を開始しているが、受益者負担の公平性を確保するため、より効果的、効率的な未収金対策となるよう努められたい。

老朽化した管渠などの計画的な改築を進めるとともに災害に強い下水道を構築するため、「山形市上下水道事業基本計画（後期計画）」の着実な実現に向けて、効率的な事業経営に取り組まれたい。

子育て環境の整備とまちのにぎわい
づくりのための補正予算を審査

補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

介護サービス基盤整備事業
1216万円

高齢者介護施設などの非常用自家発電設備の整備などに支援します。

委員 高齢者介護施設にお

9月の主な補正予算
一般会計 10億9,094万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 道路維持補修経費 1億9,000万円
- 新子ども・子育て支援システム構築運用事業 3,102万円
- 放課後児童クラブ等環境改善整備推進事業 1,525万円
- 介護サービス基盤整備事業 1,216万円
- 高濃度PCB廃棄物処理委託 1,215万円
- 東北絆まつり山形開催・東京2020NIPPONフェスティバル開催事業 500万円

る非常用自家発電設備の整備率はどうか。

長寿支援課長 補助対象となる高齢者施設の現時点の整備率は52・2%であるが、このたびの補正予算により61%程度となる。そのうち、医療的配慮が必要な入所者が多い特別養護老人ホームでは、97%程度に達することになる。

委員 非常用自家発電設備はいざというときに使用できる状態を保つことが重要である。

訓練体制や燃料の保管状況などは把握しているのか。

長寿支援課長 災害に備えた対応は各事業所において行っているが、事業所の指定に当たり、避難行動計画の策定や定期的な避難訓練の実施などを義務づけている。なお、介護サービス事業所への指導の中で、訓練の実施などの対応状況を確認していきたい。

地域公共交通乗合タクシー
運行事業の債務負担行為
限度額1280万円

債務負担行為の限度額を設定し、路線バス空白地域のコミュニティバスや地域交流バスなどの運行に向けて、プロポーザル方式による事業者の選定を行います。

委員 プロポーザルに参加対象となる事業者はどのくらいあるのか。

企画調整課長 市内のハイヤー事業者は11者あり、うち不特定多数の客を乗り合いで運行する許可を取得しているのが3者である。公共交通の拡大を見込み、許可取得を検討する事業者もあり、できるだけ多く参加してほしいと考

えている。

東北絆まつり山形開催・東京2020NIPPONフェスティバル開催事業
500万円

東北絆まつりおよび東京2020NIPPONフェスティバルの同時開催に向けた準備を行います。

委員 東北絆まつりと

同時開催される東京2020NIPPONフェスティバルの概要はどうか。また、巨大人形「モッコ」の展示とは具体的にどのようなことを行うのか。

観光戦略課長 東京2020NIPPONフェスティバルは、岩手県、宮城県、山形県、福島県の順番で開催し、各会場で寄せられた復興メッセージをオリンピックが開催される東京に届ける予定である。また、巨大人形「モッコ」は、約15メートルの大きさで、絆まつりのパレードに合わせて展示される予定である。展示場所は、パレード会場沿いの場所を検討している。



▲安全・安心の確保に向けた道路工事

道路の維持補修に要する経費 1億9000万円

生活環境のさらなる向上に向けて、市道の舗装と側溝の補修を行います。

委員 9月定例会が10月に開催されたことで、例年よりも発注時期が遅れることになるが、どのように対応するのか。

道路維持課長 道路の舗装などは降雪期に入ることもあり、工期を3月末までと、長く設定するなどの対応を図りながら、市民の安全・安心の確保に努めていきたい。

総務 厚生

産業文教 環境建設

4つの委員会で

こんなことが話し合われました!!



▲利用者の声に応え整備された西公園キャンプ場

委員 市内外から申し込みがあると思うが、市民の優先使用などは考えているのか。また、キャンプ場は他の用途でも使用できるのか。
公園緑地課長 原則申し込み順となるが、市主催の事業などがある場合は、優先して使用することになる。また、有料使用箇所であるため、宿泊が可能なキャンプ場として、他の場所とは明確に区分した上で運営したいと考えている。

西公園に宿泊可能な
キャンプ場を設置



まちづくり

委員 どのような診療体制で形成外科を開設するのか。
済生館管理課長 山形大学医学部から、週1回医師の派遣を受け、外来診療を開始する予定である。

済生館に形成外科を新設



病院

委員 制度改正で負担増になった世帯があるとの報道がある。本市でも負担が増える世帯はあるのか。
子ども未来課長 これまで保育料に含まれていた副食費は無償化の対象外のため、今回の条例改正で、住民税の所得割課税額による副食費の支払い免除を規定している。本市で副食費負担がこれまでの保育料負担を超える世帯はない。

幼児教育・保育の無償化の
法改正に合わせ条例を整備



子ども

市民の皆さまのご理解をお願いします

議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。違反すると罰せられます。有権者が寄付を求めることも禁止されています。

年賀状などのあいさつ状は禁止されています!

議員は選挙区内の人に対して、自筆による答礼を除き、年賀状などの時候のあいさつ状(電報なども含む)を出すことは禁止されています。



議員への寄付の勧誘や要求はできません!

議員に対して寄付を出すように勧誘や要求をしたり、議員名義の寄付を求めることは禁止されています。

委員 請求額に対する和解金の額をどのように考えているのか。
防災対策課長 公平・公正な立場で当事者双方の調整を図る原子力損害賠償紛争解決センターからの判断であり、今回の和解案を受け入れることは**妥当なものである**と考える。

福島第一・第二原子力発電所の事故に係る損害賠償請求について原子力損害賠償紛争解決センターの和解案に同意



くらし

委員 購入企業は、工場拡張を目的としているのか。
雇用創出課長 シヤチハタエンジニアリング株式会社からは、令和3年3月頃に**新たな工場の着工を計画**していると聞いている。

山形中央インター産業団地
分譲用地の一部を売却



商工業

防災対策課長 相手側から合意の連絡はあり、議会の議決を受け、**市と相手方と和解契約を締結**し、その後、和解金が支払われることになる。

人事案件

高倉氏の副市長選任に 同意

令和元年10月29日で任期満了となる齋藤順治副市長の後任に、高倉正則氏（山形市都市振興公社理事長）を選任することに、一部議員の退席がある中、全会一致で同意しました。

また、10月15日に行われた本会議において、任期満了により最後の議会となる齋藤順治副市長からあいさつが述べられました。



▲副市長に選任されあいさつを行う高倉正則氏

12月定例会の日程 (現在開催中)

11月28日(木)
～12月13日(金)

日程は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

7月臨時会 (花笠議会)

7月臨時会を7月26日に開催しました。7月臨時会では、工事請負契約の締結（山形市立千歳小学校グラウンド外構工事）についての議案1件が上程され、産業文教委員会に付託し審査を行いました。

審査終了後に本会議を再開し、委員長報告を受けた後、採決した結果、全員異議なく同意しました。

また、7月臨時会の開会に先立ち、山形花笠まつりを盛り上げようと、議員が企画した議場でのPR（花笠議会）が行われました。

本会議場内を花笠で飾り付け、議員と市執行部職員が法被を着用し、華やかな中で花笠まつりをPRしました。



▲閉会は花笠締めで、まつりの成功を祈念

議会開催中に 保育室を設置します

議会開催中、議会棟内の一室を保育室として開放いたします。

詳しくは山形市議会ホームページをご覧ください。

ウェブサイト

山形市議会 保育室 で 検索



みみより情報

山形市

ウィンターフェスティバル 山形冬の花火大会in霞城公園

とき 令和2年1月10日(金)
午後6時30分から

ところ 霞城公園

内容 初市開催に合わせ行われる「冬の花火大会」。約2000発の花火が、冬の夜空に幻想的に輝きます。

問い合わせ先

ウィンターフェスティバル実行委員会
☎634-0762

上山市

上山城元旦登城

とき 令和2年1月1日(水・祝)
午前7時～午後4時

ところ 上山城

内容 新年の幕開けに、上山城の天守閣で三吉山からの初日の出を拝んでみませんか。先着300の方にプレゼントを進呈します。

問い合わせ先 (公財)上山城郷土資料館
☎673-3660

山辺町

山辺町初市

とき 令和2年1月12日(日)
午前9時30分～午後4時30分

ところ 駅前、本町、仲町通り

内容 縁起物の初飴、だんご木をはじめ、海産物、臼やきねなどを売る店が軒を連ね、江戸時代から続く伝統的な催しです。

問い合わせ先 山辺町商工会
☎664-5939

市政のことが聞きたい

一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。9月定例会では、10月11日と15日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介いたします。



健康医療先進都市を目指して

おりはら まさひろ
折原 政信 議員

Q 山形大学医学部先端医療国際交流推進協議会が示す治療費助成制度の利子補給が満額に満たない場合などは、不

A 市民が治療を受けやすく足部分を補い、治療を受ける方が利子を負担することが無いように、市独自の利子補給制度を実施してはどうか。

するための制度は必要であるため、今後、同協議会の議論を踏まえながら、利子補給制度など市独自の助成制度について対策を講じていく。

Q 健康診査に際して、「胃に既往症がある場合は胃部エックス線検査が受けられない」との注意事項がある。これら既往症がある方も平等に

A 胃部エックス線検査を受けられない高齢者以外の方の胃内視鏡検査との選択制の導入は、検診と保険診療のいずれの実施が望ましいのか、今後、医師会などと十分協議しながら検討していく。

A 本市アプリを直ちに東京都と同様に実施するのは難しい状況であるが、ラジオ体操は健康づくりに役立つもので

健康診査で胃の検査が受けられるよう、胃部エックス線検査と胃内視鏡検査の選択制を導入すべきではないか。

Q ラジオ体操を健康ポイント事業スキーフの対象とし、東京都と同様に、アプリで実施回数やポイントを管理してはどうか。また、企業が休憩時間に組織全体で実施する場合は対象にしてはどうか。

| 質問者 | 質問の要旨 |
|----------------------|---|
| 折原 政信 (公明党山形市議員) | 健康医療先進都市を目指した取り組み、SDGsの推進、スポーツ振興、公民連携で南沼原小学校跡地を福祉の里に ほか |
| 高橋 公夫 (令 政 会) | 公共交通、受動喫煙対策、新たな斎場の建設、障がい者施策、放課後児童クラブ ほか |
| 渋谷 朋博 (緑 政 会) | 仙山連携の強化、連携中核都市圏構想、悪質クレーム対策、就職氷河期世代への支援、こども医療費の拡充 ほか |
| 菊地健太郎 (新 翔 会) | 2期目にあたっての市政方針、中心市街地の活性化、新サッカースタジアム建設、仙山線増発等による公共交通の充実 ほか |
| 仁藤 俊 (新 翔 会) | 命育む授業「赤ちゃん登校日」、中心市街地の活性化、山形の観光名所「山寺」 ほか |
| 浅野 弥史 (新 翔 会) | 地域公共交通、ウォーキング・サイクリングロードの整備、国土強靱化地域計画、子育て・教育環境の向上 ほか |
| 渡辺 元 (緑 政 会) | 「東北圏復興冬オリピック」招致、中心市街地の活性化、「健康医療先進都市」を推進するための民間との包括連携協定 ほか |
| 佐藤 秀明 (市民連合山形市議員) | 子育て支援、地域交通網の整備、健康医療先進都市、不動産登記、外国人と差別禁止条例、ハローワーク ほか |



▲さらに進めた受動喫煙防止対策を



たかはし きみお
高橋 公夫 議員

子どもの受動喫煙防止 条例を制定せよ！



▲SDGs 17の目標のアイコン

Q 受動喫煙防止対策をさらに進めるため、受動喫煙防止条例を制定してはどうか。

A 平成30年度に設置した健康医療先進都市推進協議会で方向性を確認しながら進めることとしており、山形県受動喫煙防止条例の遵守・指導を徹底することを協議会に提案する。

Q 特に、子どもたちを受動喫煙から守るため、子どもの受動喫煙防止条例を早急に制定すべきと考えるがどうか。

A 子どもの受動喫煙防止に重点をおき、対策を進めてい

あることから、対象事業とするための方法を、今後、調査検討していく。

Q 人工内耳用音声信号装置と人工内耳用電池および充電器などへの市独自の補助制度を実施すべきではないか。

A 自治体によっては、日常生活用具給付事業での支給をしているところもあるため、

Q 市長が公約に掲げる地域公共交通の利便性向上に向け、デマンド交通やコミュニティ交通の構築および新たな地域公共交通網形成計画策定の早期実現を望むが、計画策定の時期などはどうか。

A 令和2年度策定する新たな公共交通網形成計画には、将来を見据えたビジョンを描くとともに、今後5年間で取り組むべき具体的な事業も盛り込んでいく。その際には、福祉関係の交通支援なども含め、幅広く検討していく。

今後、他自治体の状況や考え方を調査し、検討していく。

Q 本市施策とSDGsとの関連性を可視化できるように、次期発展計画にはSDGsの17のゴールと169のターゲットを明記してはどうか。

A SDGsは、新たな発展計画を策定する上で尊重すべきものと考えている。現在、

Q 就業支援事業所で働く障がい者の賃金向上のため、就業支援事業所の共同受注や販路開拓を担う組織を立ち上げはどうか。

A 共同受注窓口は県で設置しているが、より効果的に支援できる組織の立ち上げが可能かを、関係機関と連携し検討していく。

Q 地域生活支援拠点等の整備の検討状況はどうか。障がい者やその家族から将来に対する不安の声が聞かれる中、一日でも早い整備が必要と考えるがどうか。

A 地域生活支援拠点等の整備で求められる五つの機能のうち、「緊急時の受入れ・対応」の体制整備を進め、2年度末までに面的に整備する方向で検討していく。この体制の整

新たな発展計画に位置付ける主要事業を精査中であり、その中で、SDGsの17のゴールなどの関連性を検討していく。

Q 本市がPPPやPFI事業者と30年間の事業用定期借地権設定契約を締結することは可能なのか。また、総合的な福祉施設「福祉の里」を改

Q 小規模の放課後児童クラブは収入が少ないため、人件費の負担が重く、運営に苦慮している。保育の質を低下させることなく運営できるように、小規模クラブ加算に市独自で上乗せ加算し、クラブの経営安定を図ってはどうか。

A 国の算定基準が見直され増額されているものの、依然として運営は厳しい状況と認識している。地域の状況により登録児童数が減少しているクラブには、運営の安定化に向け、個別に支援策を講じながら対応していく。

築予定の南沼原小学校現校舎跡地に公民連携で建設してはどうか。

A PPP事業者との事業用定期借地権設定契約締結は、法令などに沿った内容であれば、実施可能である。また、南沼原小学校現校舎跡地の活用は、さまざまな方法が考えられるため、今後、十分に検討していく。

※1 SDGs…持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略称。地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、すべての国連加盟国が2030年までに取り組む17分野の目標。
 ※2 地域生活支援拠点等の整備…障がい者の重度化・高齢化で自立した生活を送れなくなった場合や障がい者を支える養護者がいなくなった場合などに対応するため、障がい者や家族が将来を見据えて相談や緊急時の対応ができる拠点 (体制) を整備するもの。

連携中心都市圏の中心市として 圏域全体の発展を図れ



渋江 朋博 議員

Q 連携中心都市圏における連携事業として、どのようなものを検討しているのか。

A Y・bizの広域活用、圏域特産品などの販路拡大の促進、ふるさと納税を活用したPR、公共交通ネットワーク、移住・定住の共同情報発信などを連携事業の候補として検討を進めている。



▲広域活用の候補として検討中のY-biz

Q こども発達支援センターを連携中心都市圏において共同で設置・運営してはどうか。

A 小児発達専門医など施設の運営に必要な人員の確保の観点から、現状では大変難し

いと考えている。

Q 仙山連携と連携中心都市圏構想をどのように関わらせていくのか。

A 「村山地域の中心市としての山形市」と「仙山圏の一員としての山形市」の視点を持ち連携施策を進めることで、両圏域の魅力ある地域づくりと人口のダム機能強化に向けての相乗効果を目指していく。

Q 市内事業者に対する悪質クレームの実態を把握するとともに、悪質クレームを未然に防ぐための広報・周知を図るべきと考えるがどうか。

A 体系的な実態調査は行っていない。今後、関係機関と連携しながら、職場におけるハラスメント対策や悪質クレームを未然に防ぐための対

策を、広報・周知していく。

Q 就職氷河期世代への支援策をどう考えているのか。また、この世代向けの市職員採用も実施すべきではないか。

A 国の施策の周知を図りながら、「ジョブつすやまがた」のさらなる活用や安定雇用スキルの拡大など、関係機関と連携しながら検討していく。また、社会情勢などを勘案しながら有効な職員採用を図っていく。

Q 健康医療先進都市を目指すのであれば、高校3年生までの医療費無償化を実施すべきと考えるがどうか。

A さまざまな施策との関わりや市民ニーズ、他自治体とのバランスなどを考慮し、健康医療先進都市施策の総合的

な検討の中で考えていく。

Q 小・中学校におけるトイシ洋式化の今後のスケジュールはどうか。

A 令和2年度以降、国の交付金制度を活用し、未改修の小学校5校を整備後、中学校12校の整備を進めていく。

Q 本市の小・中学校教員の英語スキルの現状はどうか。また、ALTや専科教員の増員を図ってはどうか。

A 中央講師を招致した研修やALTを講師とするワークショップなどの研修を充実させ、教員の指導力向上を図っている。ALTは2年度に増員を計画している。専科教員は元年度1名増の5名を9校に配置している。今後も増員を国や県に要望していく。

中核市として さらなるチャレンジを



菊地健太郎 議員

Q 2期目就任にあたり、市長はどのような市政方針を持ち、臨むのか。

A 前期同様、市民目線で、

チャレンジする市政を貫く。

中核市移行を礎に健康医療先進都市の実現に向け、健康寿命延伸、地域公共交通の利便性向上、子育て・教育環境の

向上、創造都市推進、経済活性化、農業振興、地域福祉充実、安全・安心のまちづくり、仙山連携や連携中心都市圏推進、駅前再開発や道の駅設置、中心市街地のランドデザインの実現など、さらなる施策の推進に挑戦していく。

Q 中心市街地活性化のため、山形エリアマネジメント協議

会が設立されたが、具体的にどのように進めていくのか。

A 課題や調査結果を整理し、中心市街地活性化戦略本部へ報告、提案を行っている。また、山形市都市振興公社や山形まちづくり会社などへの支援や、今後、設立が検討される特別目的会社などとの連携を行い、各事業が円滑に推進するよう対処していく。

Q 商店街に未加入の県外事業者に対し、どのような指導を行うのか。

A 補助事業や制度融資、街なか出店サポート事業で地元商店街組織を周知し積極的な加入を引き続き推進していく。

Q 地域おこし協力隊を受け入れ、中心市街地のまちづくりに活用してはどうか。

※1 連携中心都市圏…相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成するもの。

※2 地域おこし協力隊…人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を誘致し、定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。



▲山形駅自由通路にストリートピアノを



仁藤 俊 議員

命の大切さを学ぶ
「赤ちゃん登校日」の実現を!!



▲中心市街地の公共施設の再配置を

Q 県あかねヶ丘陸上競技場を新サッカースタジアムの建設候補地とし、国際交流プラザの国際交流広場と駐車場に新たな陸上競技場の整備を検討してはどうか。

A まちづくりのための人材育成は必要であるため、各種事業の中で検討していく。

Q 小・中学校では「命の大切さ・心の教育」をどの科目で、どのように教えているのか。

A 保健体育、特別活動や道徳で取り扱うだけではなく、各教科や総合的な学習の時間にも「命の大切さ」「思いやり」を育む内容が含まれており、教育活動全体を通して、「いのちの教育」に取り組んでいる。

Q 児童・生徒が命の大切さを学ぶ「赤ちゃん登校日」授業を実施してはどうか。

A 保健所などと連携した安全対策の構築や協力してもらえ、親子の確保などの課題が

Q 山形駅自由通路アピカへのストリートピアノの設置について、適切な場所やあり方の検討状況はどうか。

A 山形県総合文化芸術館との連携事業を県と協議している中で、効果的な設置場所や連携する主体などを、引き続き検討していく。

Q 策定を予定している新たな文化芸術振興ビジョンに、提案した「音楽の街山形」の発信は盛り込んでもらえるのか。

A 文化創造都市を推進する上で大変重要な要素であることから、現在策定中の（仮称）山形市文化創造都市推進

Q 蔵王温泉スキー場の夏場の利用拡大や誘客推進に向け、関係団体と協力して、サマーグレンデを整備してはどうか。

A 相応の整備費と維持管理費を要するが、現状では冬季のPR活動などに取り組みている。これら取り組みの効果や利用者ニーズを踏まえ、JR東日本と協議していく。

Q 山形市観光協会が、紅葉観光の一段落する11月を目的に、立石寺境内にある2カ所のトイレを洋式化し、外装や内装などをリニューアルする。

Q 平成30年6月定例会で提案した、山寺らしい国際レベルのトイレ環境の整備の進捗状況はどうか。

A 山形市観光協会が、紅葉観光の一段落する11月を目的に、立石寺境内にある2カ所のトイレを洋式化し、外装や内装などをリニューアルする。

Q 30年6月定例会で提案した、山寺駅のバリアフリー化の見直しはどうか。

A JR東日本などと共同で策定した仙山線の利用促進及び利便性向上に関するプロジェクト方針で、長期的課題として位置付けており、今後もしJR東日本へは整備促進を、国や県には補助制度の継続や拡大を働きかけていく。

Q 山寺駅のすぐそばに観光案内所を設置し、市内の名所や周遊プランなどを積極的にPRしてはどうか。

A 案内所の移転、機能強化を含め、地元観光協会と協議を行っているが、場所や運営方法などの課題があり、実現には至っていない。地元やJR東日本などと情報共有を図り、協議を継続していく。

Q 日本遺産認定を契機に官民一体となり、山寺の活性化に取り組んでどうか。

A 「山寺と紅花」推進協議会が主催するワークショップで、官民一体となった活性化策などが検討されている。今後、さらなる山寺の活性化に向けて協議していく。

※ 菊地健太郎議員が質問の一部を短歌形式で行い、市長も同様の形式で回答した。意：秋になり、夏休みに帰省してきた孫たちの顔を毎晩のように思い出すが近くにいなくても毎日山形の水を飲ませてあげられるのに。
※ 1 赤ちゃん登校日…赤ちゃんとその親が学校に向くことで、児童や生徒が赤ちゃんの成長やいのちの尊さを実感し、コミュニケーションを学ぶなどする学習プログラム。



すべての子どもたちのための 南部児童遊戯施設を!!

浅野 弥史 議員

Q 南部児童遊戯施設整備事業の今後のスケジュールと施設の特徴はどうか。

A 令和4年3月のオープン予定で、ユニバーサルデザインを取り入れたインクルーシブな施設である。特徴的なデザインも特色の一つと考える。



▲南部児童遊戯施設のイメージパース

Q 地域公共交通の利便性向上を今後どのように図るのか。また、公共交通にタクシーを含めるのか。

A 将来を見据えた新たな公共交通網形成計画を策定する。その際には、タクシーを含め幅広く検討していく。



震災復興のための「東北圏復興 冬季オリンピック」を招致せよ

渡辺 元 議員

相当の覚悟で取り組む必要がある。札幌市が行う招致活動を注視していく。

Q 東北の複数都市が共同開催する東北圏復興冬季オリンピックを招致してはどうか。
A 招致には課題が大変多く、

Q 東北市長会で東北圏のイ

Q ウォーキング・サイクリングロードの整備方針や財源をどう考えるのか。

A 国や県で策定の計画などと整合性を図りながら整備計画を策定し、順次整備を行う。財源は充実可能な国の交付金などを活用していく。

Q 国土強靱化地域計画を早期に策定すべきと考えるがどうか。その際は、近隣の自治体と広域での計画策定を検討してはどうか。

A できる限り早期に策定する。また、近隣自治体との共同策定も検討していく。

Q 診察可能な児童発達支援センターを設置してはどうか。

A 県に対し、診療や相談体制の充実を引き続き要望する。

Q ウォーキング・サイクリングロードの整備方針や財源をどう考えるのか。

A 令和元年10月開催の東北市長会で、東北観光復興対策交付金の継続にインバウンド復興も含め、国に要望していく。

Q 台湾で絶大な影響力を持つユーチューバーを招請し、外国人旅行者数の約半数を占

Q ロタウイルスワクチンが2年10月1日から、同年8月生まれ以降の子どもを対象に定期接種となる。対象児と同年齢の子どもの10月前に接種した場合も助成してはどうか。

A 助成制度を検討していく。

Q 市立保育所に医療的ケア児や障がい児の専門のクラスを設けてはどうか。

A 対象児童の状態や人数、希望するサービスの内容などを把握した上で、必要性も含めて検討していく。

Q 中学校部活動以外の保護者主催の活動などを教育委員会や学校ではどの程度把握しているのか。また、これらの活動にどう対応しているのか。

A 調査の結果、おおむね方針に沿っているが、一部、保

Q 山形駅前旧ビブレ跡地再開発の進展状況はどうか。また、跡地北側ビル地権者も

A インフルエンサー招請による観光情報発信を実施しており、事業成果を検証の上、よりPR効果の高いインフルエンサー活用を検討していく。

Q 県民会館跡地利用の進展状況と、解体の予定はどうか。

A 元年11月末で利用を停止

護者会主催の活動を行っている実態がある。該当する学校より部活動の範囲の中で活動していくように働きかけている。今後も学校ごとに保護者の理解を得るよう、さまざまな場面で説明を行っていく。

Q 中学校の理科室などにもエアコンを設置してはどうか。

A 施設整備計画の見直しを進めており、改めて整備手法などを検討していく。

Q 半郷清掃工場の跡地利用の検討状況と今後のスケジュールはどうか。

A 2年度および3年度に解体を行う計画である。蔵王地区の地域振興に資する利用を、地域の意見を聞きながら、検討していく。

Q 含めて交渉を始めたのか。

A 平成31年1月から素案をビブレ跡地および北側の民間ビル2棟の地権者に示し、意見を聞いている。今後も意見交換を行い、魅力ある施設整備実現に向け努力していく。

Q 県民会館跡地利用の進展状況と、解体の予定はどうか。

A 元年11月末で利用を停止

*1 インクルーシブ…包括的なさま。多様性を認め合い、障がいのある者と障がいのない者が共存するさま。
*2 ユーチューバー…主に動画共有サービスYouTube上で独自に制作した動画を継続的に公開する者のこと。
*3 インフルエンサー…世間を与える影響力が大きい行動を行う人物のこと。



▲保育士確保が求められる市立保育園

Q 待機児童が発生する原因と対策をどう考えているのか。また、保育士が働き続けられる環境が必要ではないか。

A 平成31年4月1日現在で39人の待機児童が1歳児を中心に生じたのは、保育士確保が進まなかったことや、保護者のニーズと施設の立地条件が合わないことなどが原因である。このため、保育士宿舍借り上げ支援事業の拡充や1

Q 公立保育所の定員割れと、臨時保育士の採用が4月1日より遅れるのは問題ではないのか。

A 令和2年度からは会計年度任用職員制度により保育士を募集し、つばさ保育園とさくら保育園で低年齢児受け入れ数を増やす。長期的には、拠点保育所を整備し、待機児童の解消に努めていく。

Q 放課後等デイサービスは、障がい児の保護者のニーズが高いが狭き門となっている。施設の拡充と、利用の可否の早期決定が必要ではないか。

Q 児童相談件数はどうか。また、要保護児童対策や学校・保育現場と一体となり取り組むため、児童相談所の設置を検討してはどうか。

A 平成30年度と比べ、元年度は児童虐待の相談が増えている。児童相談所の設置は、今のところ予定はないが、相談体制の充実を検討していく。

Q コンパクトシティの実現に向け、公共交通機関沿線への居住を推進する政策を行うてはどうか。

A 地域公共交通網形成計画

Q 外国人差別禁止条例の制定を検討すべきではないか。

A 本市の具体的状況や他自治体の取り組み状況を注視し、適宜研究・検討していく。

Q 引きこもり対応などのハローワーク相談窓口を庁舎内に設置してはどうか。

A 国に設置を希望しており、2年2月頃に結果が示される見込みである。



佐藤 秀明 議員

待機児童解消を全力で

Q 待機児童の現状はどうか。

A 令和元年10月1日現在で約80人の待機児童が発生する見込みである。

Q 公立保育所の定員割れと、臨時保育士の採用が4月1日より遅れるのは問題ではないのか。

A 令和2年度からは会計年度任用職員制度により保育士を募集し、つばさ保育園とさくら保育園で低年齢児受け入れ数を増やす。長期的には、拠点保育所を整備し、待機児童の解消に努めていく。

Q 児童相談件数はどうか。また、要保護児童対策や学校・保育現場と一体となり取り組むため、児童相談所の設置を検討してはどうか。

A 平成30年度と比べ、元年度は児童虐待の相談が増えている。児童相談所の設置は、今のところ予定はないが、相談体制の充実を検討していく。

Q 県内の他自治体と連携し、クアオルト事業を実施してはどうか。

A 山形版DMOなどの広域連携の枠組みを活用し、連携が可能かを検討していく。



▲冬季オリンピック招致で東北を世界に発信

し、2年3月末の閉館後の解体スケジュールは未定である。本市のグランドデザインで示す歴史・文化推進ゾーンにふさわしい土地利用を検討している。

Q 県民会館跡地への県立博物館教育資料館（旧山形師範学校）移設を県に提案してはどうか。

Q 地方裁判所の建て替え時移転を要望し、市郷土館（旧済生館本館）移設を検討しているが、進展状況はどうか。

A 元年6月に山形地方裁判所へ要請書を提出し、移転先

の土地条件の意向を確認中である。裁判所の意向を踏まえ、計画的に検討を進めていく。

Q 元年9月県議会定例会の知事答弁にあった武道館撤去後の本市の代替施設案の内容と、その進展状況はどうか。

A 県への重要事業要望時に、本市中心市街地への代替施設整備を改めて要望した。県と

連携し、できるだけ早く具体的な方向性を見いだしていく。

Q 食事と健康、運動に強みを持つ企業と包括連携協定を結び、健康医療先進都市の推進を図ってはどうか。

A 協定締結は両者がメリットを享受できる関係構築が必要であるため、今後、提案の企業も含め協議を行っていく。

※1 会計年度任用職員制度…地方自治体における臨時・非常勤職員の任用要件を厳格化した、期限付きで任用する職員の新たな制度。
 ※2 クアオルト…ドイツ語でクア(Kur)「治療・療養、保養のための滞在」とオルト(Ort)「場所・地域」という言葉が合わさった言葉で、「療養地」という意味。

みんな元気にすくすく育てほしい
 ～岡崎市こども発達センター「すくも(すくすくそだつこども)」～
 (厚生1班)



岡崎市こども発達センター「すくも」は、発達に関する相談、医療および療育を総合的に提供する施設で、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を図るPFI手法を用いて整備・運営されています。また、施設には、発達相談センター・発達医療センター・発達支援センターの3つのセンターがあり、異なる事業主体が協力し、こども発達センターの事業を運営しています。各センターで運営とケースに関するコーディネーターを設定し、連携して運営しているとのことでした。

芸術文化の土壌を醸成する
公益財団法人金沢芸術創造財団
 (総務1班)



金沢市では、公益財団法人金沢芸術創造財団を設立し、10の芸術文化施設を管理・運営しており、積極的に芸術文化の創造に関する企画を実施し、市民の生涯にわたる芸術文化の土壌を醸成しています。芸術文化の振興に向けたさまざまな取り組みは、市民の芸術文化活動の推進や技術研修者の養成、若手工芸家の創作などに役立っています。また、24時間稼働している練習施設の金沢市民芸術村を現場視察しました。

| 委員会名 | 日程 | 調査地 | 調査項目 |
|-----------------|--------------------|--------|---------------------------|
| 総務委員会 (1班) | 7月9日(火) ～11日(木) | 富山県富山市 | 公共交通施策について |
| | | 石川県金沢市 | 公益財団法人金沢芸術創造財団の運営等について |
| | | 長野県佐久市 | 移住・定住施策、国際交流について |
| 厚生委員会 (1班) | 7月8日(月) ～10日(水) | 愛知県岡崎市 | 岡崎市こども発達センターについて |
| | | 岡山県倉敷市 | 倉敷市立市民病院(市民病院建設事業)について |
| | | 埼玉県朝霞市 | 障がい児保育の充実に向けた取り組みについて |
| 産業文教委員会 (1班) | 7月9日(火) ～11日(木) | 大阪府吹田市 | 市立吹田サッカースタジアムについて |
| | | 奈良県奈良市 | 観光誘客の取り組みについて |
| | | 滋賀県守山市 | もりやま食のまちづくりプロジェクトについて |
| 環境建設委員会 (1班) | 7月2日(火) ～4日(木) | 岩手県盛岡市 | Park-PFIを活用した公園整備について |
| | | 岩手県久慈市 | 新電力会社「久慈地域エネルギー」の取り組みについて |
| | | 青森県弘前市 | 弘前型スマートシティ構想推進事業について |

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。視察の成果は、委員会審査の中で、本市の抱える課題解決や市への提言に生かされます。令和元年度に実施した委員会視察の内容をお知らせします。

常任委員会視察報告

Park-PFIを活用した公園整備

(環境建設1班)



盛岡市では、公募により選定された民間事業者が、公園利用者の利便性向上につながる収益施設などや園路や広場などの特定箇所を一体的に整備し、管理を行うPark-PFIを活用した公園整備に取り組んでいました。現在、3カ所において事業が行われており、このうち、中央公園では、公園内未整備区域への広場と体験学習施設や飲食店などの整備とともに、盛岡市においても課題となっている待機児童の解消に向けて、保育施設の設置を行うとのことでした。

寄付金を活用して建設された臨場感あふれるスタジアム
 ～Panasonic Stadium Suita～

(産業文教1班)



市立吹田サッカースタジアム(Panasonic Stadium Suita)は、法人や個人からの寄付金と日本スポーツ振興センターなどの助成金を活用して建設されました。建設後、市へ寄贈され、指定管理者の株式会社ガンパ大阪が管理運営しています。スタジアムは全席が屋根で覆われ雨にぬれずに観戦ができるほか、太陽光発電の活用など環境にも配慮されています。また、災害用備蓄倉庫を設置し地域の防災拠点機能も担っており、試合の開催以外では健康増進・地域交流拠点としても活用されているとのことでした。

計画的な斎場整備
～岡山市東山斎場再整備事業～

(厚生2班)



岡山市の旧東山斎場は、昭和44年8月に建設され老朽が著しく、耐震基準不適合、バリアフリー未対応だったため、再整備が計画されました。東山斎場は、古来より葬送の場所として、

墓参りを通じて広く市民に親しまれた場所であったため、現地にて建て替えし、平成31年2月に供用開始しました。一方で、東山斎場の再整備で炉を大型化したことにより炉数が減少し、死亡者数の将来的な増加や災害時のリスク分散の観点などから、新たな斎場を整備することとなり、令和3年の供用を目指して岡山市北斎場の整備を開始したとのことです。

豪雨災害体験を防災教育に役立てる
「土砂災害避難体験VR」

(総務2班)



東広島市は、広島大学と共同で土砂災害避難体験VR（ヴァーチャル・リアリティ）ソフトを開発し、防災教育に役立てています。このソフトは、平成30年7月の西日本豪雨災害被災者

から聞き取りを実施し発災当日の状況を再現しており、避難のタイミングや避難行動の体験学習ができるものです。今後は、西日本豪雨で特に被害が発生した地域を優先的に、中学校・高校の防災授業や自主防災組織などの訓練で体験してもらい、同様の災害の発生時に早期避難および適切な行動ができるよう啓発を進めていくとのことでした。

| 委員会名 | 日程 | 調査地 | 調査項目 |
|-----------------|--------------------------|---------|-------------------------------|
| 総務委員会 (2班) | 7月31日(水) ～ 8月2日(金) | 広島県東広島市 | 防災センターおよび災害体験用VRソフトについて |
| | | 広島県呉市 | 広島中央地域連携中枢都市圏の取り組みについて |
| | | 広島県廿日市市 | 中山間地域のバス路線再編事業について |
| 厚生委員会 (2班) | 7月22日(月) ～24日(水) | 岡山県岡山市 | 岡山市東山斎場再整備事業等について |
| | | 兵庫県西宮市 | 地域生活拠点等の整備について |
| | | 大阪府 | 大阪府受動喫煙防止条例等について |
| 産業文教委員会 (2班) | 7月22日(月) ～24日(水) | 香川県高松市 | 伝統的ものづくりについて |
| | | 徳島県三好市 | 休廃校の活用について |
| | | 徳島県徳島市 | 徳島市立図書館について |
| 環境建設委員会 (2班) | 7月8日(月) ～10日(水) | 北海道札幌市 | 市営住宅を活用した学生シェアハウスモデル事業について |
| | | 北海道札幌市 | モエレ沼公園について |
| | | 北海道北広島市 | 下水処理センターにおけるバイオマス利活用の取り組みについて |

自然とアートが融合したモエレ沼公園

(環境建設2班)



札幌市のモエレ沼公園は、全体をひとつの彫刻作品とするというコンセプトで、ごみ処理場の跡地に造成されました。公園内には、不燃ごみと公共残土を積み上げて造成されたモエレ山、

噴水や遊具などが配置されており、年間約80万人が来園しています。また、屋内施設のガラスのピラミッドには、地域固有の自然エネルギーである雪を活用した冷房システムなどを導入しており、CO₂の排出を年間30.8t削減するなど、自然環境の保全にも取り組んでいました。

人と文化が会う駅前図書館

～徳島市立図書館～

(産業文教2班)



徳島市では、図書館を平成24年4月に徳島駅前の民間商業施設内にリニューアル移転しました。ニーズの多様化や社会情勢の変化への対応が迫られていただけでなく、設備・立地条件など

で、市民から改善を求める意見や要望がありましたが、駅から徒歩5分の場所への移転で利便性を向上させました。また、まちのにぎわい創出を考え、商業施設内に子育て安心ステーションを併設し、図書館利用の際の一時託児や子育て相談も気軽に行える環境となっていました。

魅力あふれる山形市を目指して

議員と意見交換をしませんか？

9月定例会の審議過程や結果を市民の皆さまへ分かりやすくお伝える「議会報告会」を開催します。

この報告会では議会を知ることができるほか、魅力あふれる山形市を作り上げていくために市議会議員と意見交換ができます。

今年度は8カ所のコミュニティセンターで開催されますので、ぜひお気軽にご参加ください。

《議会報告会》

期間：12月9日(月)・12月11日(水)

時間：19時～20時30分（18時30分より受付）

内容：9月定例会の議会活動報告です。



※やまがた市議会報みちしるべ（本号）をご持参ください。

| 月日 | 会場 | 出席議員 |
|-----------|---------------|--|
| 12月9日(月) | 大曾根コミュニティセンター | ◎佐藤 秀明(総務) ○荒井 拓也(産業文教) 佐藤 清徳 武田 聡 武田 新世 伊藤 香織 遠藤 吉久 須貝 太郎 斎藤 武弘 議長 |
| 12月11日(水) | 西山形コミュニティセンター | |
| 12月9日(月) | 千歳コミュニティセンター | ◎高橋 公夫(厚生) ○松田 孝男(総務) 松井 愛 阿曾 隆 田中 英子 中野 信吾 斎藤 淳一 鈴木善太郎 |
| 12月11日(水) | 村木沢コミュニティセンター | |
| 12月9日(月) | 山寺コミュニティセンター | ◎仁藤 俊(産業文教) ○斉藤 栄治(環境建設) 鈴木 進 菊地健太郎 今野 誠一 渡辺 元 折原 政信 長谷川幸司 副議長 |
| 12月11日(水) | 本沢コミュニティセンター | |
| 12月9日(月) | 蔵王コミュニティセンター | ◎渋江 朋博(環境建設) ○浅野 弥史(厚生) 小田 賢嗣 井上 和行 佐藤亜希子 川口 充律 丸子 善弘 石澤 秀夫 |
| 12月11日(水) | 鈴川コミュニティセンター | |

※どの会場でも参加できます。

◎…常任委員会委員長 ○…常任委員会副委員長

月めくりの暦も残すところ師走の一枚のみ。早いもので、平成から令和となったこの年も、間もなく幕を閉じようとしています。

この頃はさまざまな場面で、今年(あるいは十八)の重大(あるいは重大)「ニュース」などと、一年を振り返る時期。本市の重大ニュースといえば…。私の独断と偏見をお許しいただき振り返ると、中核市への移行、市議会議員選挙の実施、市政施行百三十周年、市長選挙の実施など、「新たな時代」の幕開けにふさわしい年だったのではないかと感じています。

皆さまにとってこの一年はどんな年だったでしょうか。新年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう。議会報副委員長 武田 新世

編集後記

スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。
お気軽にご活用ください。



ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索